

《 競 技 注 意 事 項 》

1. 規則について

本大会は、2025 年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会申し合わせ事項によって行う。

2. 競技場について

競技場の開門時間は 7 : 30 である。(予定)

競技場は、全天候舗装である。スパイクピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳、やり投のピンの長さは12mm以下とする。これらのスパイクピンの直径は、先端が4mm以内、スパイクのピンの本数は11本以内とする。走路の保全と競技者の安全のため、競技規則TR5を厳守すること。

3. 練習について

練習は、競技役員の指示に従って、補助競技場内で行うこと。フィールド競技の練習は、現地での最終チェック後競技場内で行うことができる。特に、投てき練習は、競技役員の指示に従って、試技順に競技場内で行うこと。

最初の競技開始 30 分前まで主競技場を練習に開放する。その際、1～3 レーンは周回練習、5～8 レーンはスピード練習とする。ただし、ホームストレートの7・8 レーンはハードル練習とし、4 レーンにコーンを設置する。なお、競技役員及び競技者以外は、トラック・フィールドに立ち入らないこと。

※ 混成競技のフィールド種目の練習開始時刻は、競技役員の指示に従うこと。

※ 競技場・補助競技場以外のいかなる場所でも練習は禁止する。特に駐車場内での練習は厳禁。

4. 招集について

- ① 招集は招集所（競技者係）において本人が行うこと。その後現地での最終チェックを行う。
- ② 招集場所は100mスタート地点付近のダッグアウト内に設ける。
- ③ 招集時間は競技日程に記載された通りとする。招集時刻に遅れた者は欠場とみなし出場を認めない。
- ④ 男女棒高跳の招集は競技日程記載の時間に現地で行う。
- ⑤ 招集はアスリートビブス確認のため、必ずユニフォームを着用して受けること。
- ⑥ 混成競技の1日目及び2日目の最初の競技についてもプログラム記載の招集時間において招集所で行う。2種目以降の招集はトラック・フィールドとも競技開始時刻10分前に競技場所で行う。
- ⑦ 混成競技の選手控所は設けない。
- ⑧ 2種目同時に出場する競技者は、予めその旨を本人または代理人が競技者係に申し出て「同時出場届」を受け取り、必要事項を記入のうえ提出する。

5. アスリートビブスについて

- ① アスリートビブスは、主催者が用意したままの状態（縦16cm、横24cm）で使用し、安全ピンは各自で用意すること。
- ② 跳躍種目では、アスリートビブスを背または胸につけるだけでもよい。
- ③ トラック種目の出場者は、招集所（競技者係）においてレーン番号の腰ナンバー標識を受け取り、右腰やや後方につけること。
- ④ 3000m・3000mSC の出場者は、招集所（競技者係）でレーン番号の特別ナンバーカードと腰ナンバー標識を受け取りそれぞれ胸・背と右腰やや後方につけること。
- ⑤ リレー競技において、4×100mR の4走者、4×400mR の2～4走者は、レーン番号の腰ナンバー標識を受け取り、右腰やや後方につけること。
- ⑥ 腰ナンバー標識、特別ナンバーカード共に競技終了後は返却せず、各自で持ち帰ること。
- ⑦ アスリートビブスを紛失または忘れた者は本部にて再発行を受けること。（2枚1組500円で販売）
自作のアスリートビブスは認めない。

6. トラック競技について

- ① 予選の組・走路順については主催者が抽選し、プログラムに記載する。
- ② 準決勝、決勝の組・走路順は、本部で抽選し、招集所に掲示する。(競技規則 TR20.4)
- ③ トラック競技は、すべて電気計時とする。
- ④ 同タイムの競技者及びチームについては、写真を細部 (1/1000) まで読み取り優劣を判定する。判定できない場合は、同タイムの競技者及びチームの代表者によって抽選とする。ただし、800m、1500mでは同タイム着差なし (1/1000) の場合、次のラウンドに進むことができる。
- ⑤ 競技運営上、女子 3000mSC は 18 分で競技を中止する。(残り 1 周通過タイム)
- ⑥ 少年男子 B 1 1 0 m J H の高さは 0.991m、インターバルは 9.14m とする。
- ⑦ 少年女子 B 1 0 0 m Y H の高さは 0.762m、インターバルは 8.5m とする。
- ⑧ トラック競技は 1 回目の不正スタートで失格とする。
※スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告 (イエローカード) を与えられることがある。

7. リレー競技について

- ① オーダー用紙 (プログラムに添付) は、各ラウンドにおける 1 組目の招集完了時刻 6 0 分前までに招集所に提出すること。
- ② リレー競技に出場するチームのユニフォームは、同一チームが確認できるものとする。
- ③ オーダー用紙提出後、競技日程記載の招集時間に 4 人が揃って招集を受けること。

8. フィールド競技について

フィールド競技の試技順は、主催者が抽選したプログラム記載の順番に従い行う。

跳躍競技のバーの上げ方は、次のとおりである。(ただし、荒天の場合は別途指示する。)

種 目	練 習	バ ー の 上 げ 方
男子 走高跳	1m80 又は 2m00	1m85 1m90 1m95 2m00 2m03 以後 3cm
女子 走高跳	1m45 又は 1m60	1m50 1m55 1m60 1m63 1m66 以後 3cm
男子 棒高跳	3m90 又は 4m80	4m00 4m20 4m40 4m50 4m60 4m70 4m80 4m90 以後 5cm
女子 棒高跳	2m00 又は 3m00	2m10 2m30 2m40 2m50 2m60 2m70 2m80 2m90 3m00 以後 5cm
7 種 走高跳	1m20	1m25 1m28 1m31 1m34 1m37 1m40 以後 3cm
10 種 走高跳	1m45 又は 1m70	1m50 1m53 1m56 1m59 1m62 1m65 以後 3cm
10 種 棒高跳	2m30	2m40 2m50 2m60 2m70 2m80 2m90 3m00 以後 5cm

※ 第 1 位及び 6 名決定のためのバーの上下の範囲は、走高跳では 2cm、棒高跳では 5cm とする。

※ 走幅跳・三段跳の助走路は、(A) はトラック側、(B) はスタンド側とする。

※ 男子三段跳の踏切板の位置は、砂場より 13m00 に設置する。

※ 女子三段跳の踏切板の位置は、砂場より 10m00 に設置する。

※ 走幅跳、三段跳のトップ 8 の試技は、そのままの A 及び B ピットで行う。

9. 競技用具について

- ① 競技用シューズの靴底については競技規則 TR 5 (シューズ) を適用する。
- ② 競技に使用する器具は主催者が用意する。ただし、砲丸・円盤・やり・ハンマーは、各自持参したものを、各競技の開始時刻 90~60 分前までに検査を受けて合格した物は使用することができる。

10. 表彰について

各種目 3 位までに入賞した者 (チーム) は競技終了後ただちに表彰を行うので、本部表彰者控え場所に待機すること。
各種目 4~8 位までに入賞した者 (チーム) は、本部庶務係まで賞状をとりにくること。
(優勝者は選手権章も授与される)

1 1. 抗議について

競技規則TR 8にもとづき、競技者自身、もしくは代理人から審判長へ口頭でなされる。裁定に不服の場合は、競技者に代わる責任者が上訴申立書と預託金 10,000 円を総務に提出する。(抗議は正式アナウンス後、上訴は審判長の裁定後 30 分以内。同一日に次のラウンドがある場合は、それぞれ 15 分以内とする。)

1 2. 欠場について

各種目にやむをえず欠場をする者は、招集完了時刻までに「欠場届」を招集所（競技者係）に提出すること。「欠場届」は招集所で配布する。

1 3. 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助言については、競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。なお、文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。

また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことができない。(競技規則TR 6)

ただし、競技区域外で撮影された映像を見ることがや録画再生機器を手にするのはよいが、その際は場所などについて競技役員の指示に従うこと。

1 4. 警告について

- ・競技規則TR 7 の規定により、違反があった競技者やリレーチームには審判長よりイエローカード（以下YC）を提示し警告を与えることがある。
- ・2回のYCの提示を受けた競技者やリレーチームは失格または競技会から除外される。

1 5. その他

- ・本大会において各種目 6 位（6 名または 6 チーム。女子 3000mSC と混成競技は 3 位入賞者 3 名）に入賞した者は、関東陸上競技選手権大会（埼玉）に出場できる。（申込書は本部で配布。）

※トラック種目において同タイムが出た場合は写真を細部まで（1/1000 秒まで）読み取り着差を判定する。

それでも判定できない場合は抽選とする。

走高跳・棒高跳で 6 位同記録の場合はジャンプオフを行う。

走幅跳・三段跳・投擲種目において 6 位同記録が出た場合は抽選とする。

※出場者が 6 名未満の場合でも、入賞した者のみが、関東陸上競技選手権大会に出場できる。

- ・プログラムの訂正は、速やかに庶務係に申し出ること。
- ・使用した観覧席はきれいにし、ゴミは原則として持ち帰りとする。特に、持ち込んだダンボール紙等は必ず持ち帰ること。
- ・更衣室は、更衣のみに使用すること。各団体の控室のように使用しないこと。
- ・正面スタンドに、横断幕を張らないこと。
- ・応援は、スタンド席で行う。役員・選手以外のトラック・フィールドへ立ち入りを禁ずる。
 - ※スタンド最前列では、立っての応援は禁止とする。
- ・貴重品の管理は、各団体・個人で責任をもって行うこと。
- ・全競技終了後は、速やかに競技場外に移動し、ミーティング等は競技場外で行うこと。
- ・競技場外（公園内）にテント・シート等で占有スペースを設置しないこと。

競技場隣接の横浜市民病院にあるコンビニを利用する場合は「マスクの徹底」と
静粛なマナー・言動をお願いします。